

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E1121011	合唱 (Chorus)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 栗栖 由美子 E-mail ykurisu@oita-u.ac.jp 内線 7617											
授業の概要	合唱本来の芸術表現を学ぶとともに、学習の場における合唱作りのプロセスを体験します。また、合唱指導における専門的知識と、合唱指揮法の基礎的な技術の習得を目標とします。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	身体の構造と機能にもとづく発声法を理解する。																
目標2	パート内での音色の統一、全体としての音色の統一に注意を傾けることができる。																
目標3	合唱作りのプロセスに積極的に参加することができる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	授業ガイダンス																
2	姿勢・呼吸法について																
3	発声指導のポイント(1) 頭声と胸声																
4	発声指導のポイント(2) 声の響き																
5	発音指導のポイント																
6	合唱指揮(1) 拍子の取り方																
7	合唱指揮(2) 速度の設定																
8	合唱指揮(3) ハーモニー																
9	合唱指揮(4) 音楽づくり																
10	「旅立ちの日に」を用いての合唱(1) 音色や強弱の工夫																
11	「旅立ちの日に」を用いての合唱(2) 語感を生かした歌い方																
12	「旅立ちの日に」を用いての合唱(3) ビュー モツソの扱い方																
13	「翼をください」を用いての合唱(1) ポピュラーソングの歌い方																
14	「翼をください」を用いての合唱(2) 混声3部のハーモニー																
15	「翼をください」を用いての合唱(3) 歌の盛り上がり																
ラーニング	A:知識の定着・確認	教材研究、演奏発表、相互評価					工夫	その他									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	指定曲の事前練習・教材研究〔指揮も含む〕(15h)															
	事後	授業で扱った曲の復習(15h)															
教科書	教育芸術社『中学生の音楽1』、『中学生の音楽2・3上』、『中学生の音楽2・3下』																
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』、必要に応じて、楽譜を配布します。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業への参加度(授業への取り組み、実技等)	50%															
	演奏発表	50%															
注意事項	・動きやすい服装・靴で受講してください。 ・授業全体の7割以上の出席を、単位取得のための基礎条件とします。																
備考	・定期的に小アンサンブルを行い、学生同士が指摘しあう時間を設けます。 ・受講人数によっては、曲目を変更する場合があります。																
リンク																	
	URL																